

九州工業大学へご入学おめでとう！ 人間力を高める有意義な学生生活を！

一般社団法人明専会会長 高原 正雄（機43）



残念ながら中止になり、加えて東京オリンピックも一年延期となりました。

一般社団法人明専会を代表して、

皆さんのご入学を心よりお祝い申し上げます。皆さんは今までに大変な受験勉強を克服し、見事に入学されたわけでありますので、一番喜んでおられるのはご自身だと拝察いたします。また、ご家族の皆さまも大変喜ばれていることと拝察いたします。重ねてお祝いを申し上げます。

皆さんは、東京オリンピックという記念の年の入学でありましたが、昨年12月中国・武漢で発生した新型コロナウイルス・ウィルス（COVID-19）が世界中を脅威に陥れ、日本もあらゆるイベントなどが自粛、中止、そして、九州工業大学の大切な入学式も

実は、私が九州工業大学に入学した年の1964年（昭和39年）も東京オリンピックの年でした。その東京オリンピック組織委員会会長が、九州工業大学の前身である明治専門学校（明専）の創始者・安川敬一郎翁の五男・安川第五郎氏でありました。そして、副会長が明専一期生で東レ会長になられた田代茂樹先輩でありました。明専の卒業生たちは、「明専オリンピック」と呼んだほどに喜んだものでありました。そして今、新世紀の国家祭典に向けて、現在の母校出身の多くの技術者が活躍されております。是非とも来年の成功をお祈りする次第であります。

九州工業大学は、今から31年前に、九州の炭鉱王・安川敬一郎翁が巨額の私財を投じ、教育界の巨星・山川健次郎卿を総裁に迎えて設立した名

門・私立明治専門学校に始まりました。安川敬一郎翁は、常に報国の至誠に燃え、国家隆盛のもとには先ずは人材育成であるという理念を持っておりました。一方、山川健次郎卿は、会津白虎隊出身で、日本初の理学博士、東京帝国大学第6代総長の経歴を有した教育界の巨星でした。安川敬一郎翁の崇高な報国精神に深く感銘し、自らが理想とした教育『技術に堪能な士君子の育成』、すなわち、会津武士道に通じる教育を、九州のこの地にて実践いたしました。厳格な教育を受けた先達の多くは、世のため、人のために生涯を捧げ、国内外における産業界、教育界、政界などで著しく貢献されました。それが『名門・明専』と言われ続けてきた所以でもあります。その卒業生から成る明専会は、同窓の絆と母校支援を事業の柱とする社団法人であります。常に大学と連携して学生育成支援を強力に推進しております。例えば、企業などの第一線で活躍されている明専会会員が学生の皆さんに最先端の技術や技術者の心構え等を「Face to Face」で伝授する「明専塾」や「明専スクール」をはじめ、「学

生ものづくりプロジェクト」、「グローバル人材育成」、「トップアップ人材育成」など、多くの支援事業に取り組んでおります。皆さんは、これから国際的に通用するプロフェッショナル・エンジニアに成長するために、この九州工業大学で工学に関わる専門的な学問や研究に専心していただくこととなりますが、こういった明専会のプログラムに積極的に参加することが、皆さんのこれらの成長に大きくプラスになると確信しております。いずれも皆さん自身の積極的なやる気こそが重要であり、明専会もそういった皆さんに手を差し伸べて参ります。

皆さんは現在、明専会の準会員（いわゆる、学生会員）として入会されていて、卒業後に年会費を毎年納入することにより正会員になれます。しかし、昨年度より会費の特別優遇措置として、在学中でも終身会員になれる権利を導入いたしました。多くの特典がありますので、是非とも終身会員へ入会されることをお勧めいたします。

（いすゞ自動車(株)理事）